日配品の食品ロス削減・商慣習見直し事例調査の進め方と進捗について

1 実施概要

発注を適正化し、サプライチェーンの食品ロス削減を実現した先進事例を調査し、普及啓発に活用できる事例集を制作する。

企業の取り組み内容をより詳しく追求するため 2022 年度と 2023 年度の日配品 アンケートの回答企業のなかから、食品ロス削減や商慣習見直しの好事例のヒ アリングが見込めそうな企業に対するヒアリング調査を行っている。

- 2 目標件数:10件程度
- 3 想定事例
- ・ 発注リードタイム延長
- · 納品頻度削減
- ・ サプライチェーンにおける情報の連携の推進(発注以外の情報(在庫情報、需要予測情報など)の活用拡大などを含む)
- ・ 需要予測精度向上と発注適正化の連携 など
- 4 想定する調査の観点
- ・ 取り組みの促進要因が何か
- ・ 取り組みにおいてどのような問題が生じそれをどう乗り越えたか
- ・ メーカー・小売業双方にメリットが出るようにするためのポイント
- ・ メーカー・小売業の様々な関係部署が連携する体制構築の進め方
- ・ 食品ロス削減、物流効率化効果、顧客・従業員の定性的評価 など
- 3 取り扱い:体系的に整理してホームページで公表予定
- 4 今後の進め方: まとまり次第、委員には文面での確認とさらなる深堀りのための意見などをいただき、承認次第、公表